

事務事業名	道の駅たたらば壱番地管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	産業振興グループ	課長名	河角郁夫
施策名	(35)観光の振興	担当者名	田浪文雄	電話番号	0854-74-0213 (内線) 4414
目的	対 象 市外の人 意 図 A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 0 4	観光施設管理事業 道の駅たたらば壱番地管理事業	
基本事業名	(105)受け地づくりの推進				
目的	対 象 市外の人 意 図 受け入れる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
② 事業内容	期間限定複数年度事業は全体像を記述 指定管理業務のほか、施設管理対応補助として満車時の駐車場や仮設トイレの給水の対策、排水路の清掃等を実施した。 また、施設利用者の利便性の向上を図るため、段差解消用機具や車いすの配置、除雪機等積雪時の備品配備や屋根からの落雪対策、トイレ表示サインの設置を実施した。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動) ・指定管理者対応、指定管理更新業務 ①指定管理料支出他事務②施設管理状況把握(ヒアリング)③指定管理基本協定・年度協定締結 ・施設備品購入 ①除雪機②車いす③伸縮スロープ④施設内路面防護マット⑤落雪対応用保安用品 ・施設状況把握・管理対応補助 ①繁忙期、積雪期対応 (仮設トイレ・駐車場区画臨時増設・車両誘導・落雪、除雪対策)②浄化槽、水路等状況把握・保全対策 ・施工工事 ①トイレ表示サイン工事 1件	26年度計画(26年度に計画する主な活動) ・指定管理者対応業務 ・施設状況把握・対応補助 ①繁忙期、積雪期対応 (仮設トイレ・駐車場区画臨時増設・車両誘導・落雪、除雪対策) ②浄化槽及び水路等状況把握・保全対応 ・観光案内等自主運営事業対応 ・身障者用駐車場屋根設置工事			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	施設管理対応補助	回		12	98	30
イ	指定管理者協議	回		5	12	5
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	道の駅たたらば壱番地利用者	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア	国内人口	千人			127,515	127,298	-
イ								
ウ								
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	利用者数(レジ通過者数)が増加する 市内の観光入込客数が増加する	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
ア	利用者数(レジ通過者)	人			7,938	516,291	500,000	
イ	市内観光入込客数	万人			96.6	143.8	143.8	
ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
・需用費1,453千円 ・役員費5,979千円 ・委託料6,902千円 ・使用料及び賃借料1,488千円 ・工事請負費195千円 ・原材料費422千円 ・備品購入費1,085千円 ・負担金9千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				15,000
	その他	千円		34		
	一般財源	千円	0	1,472	17,533	12,156
	事業費計(A)	千円		1,506	17,533	27,156
	正規職員従事人数	人	0	1	3	
	延べ業務時間	時間		300	500	
	人件費計(B)	千円		1,175	1,947	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		2,681	19,480	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善を行っているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中国横断自動車道尾道松江線の松江自動車道の開通と出雲大社遷宮等の効果により、計画時の予想を上回る来場者数を得た。高速道路沿いに立地する「道の駅」として、サービスエリアのような認知や期待度も高まってきたことから、一層の施設管理・運営、及び諸機能の充実、サービス向上が必要となっている。	連休中等繁忙期における入込客の増加に適應できる駐車場確保や車両誘導、仮設トイレ設置等を図ってきた。また、積雪時には屋根からの雪ずり対策や施設周辺の除雪も実施し、浄化槽排水対策も継続的な改善対策を行った。	①施設を拠点とした高速道路利用者の市内へ呼び込みを一層図る必要があるとの認識。 ②高速道路沿いの道の駅として、その立ち寄り車数に対応した、市内の観光情報の提供や、地域情報の発信が期待されている。 ③観光情報の提供や、地域情報の発信については、指定管理者と市、関係団体等との連携が重要である。

事務事業名	道の駅たたらばき番地管理事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設への出品とその売上げ以外に、産直市や観光事業を通じて更に地域経済への波及効果が期待できる。市内への誘客を促す拠点としての役割が求められていることから、情報提供のみならず、市内観光案内なども含めた人的対応も模索できると考える。																			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																					
D 公平性	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	中国横断自動車道尾道松江線・雲南吉田IC沿いの道の駅であり、市内外の利用者も多数あるため。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																					
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	理由	道の駅(市内4箇所)を核とした観光振興・情報発信ができる。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (具体的な手段や類似事業名)																					
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない																					
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	現状削減余地なし。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																					
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	H25年度からの指定管理施設のため、当面、正職員での対応が必要である。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	不特定多数の利用が可能な施設であるため公平・公正である。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																					
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		初年度は指定管理料確定・開設準備であるため、事業費の削減等は困難である。また、成果についても、初年度の各数値・指標のみでの評価となるため、今後の検証が必要である。観光等産業の振興及び地域活性化に寄与する施設として整備され、管理運営が行われていることから、目的・有効性は適切である。																		
3 今後の方向性【PLAN】																						
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	向上			●	維持			×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上			●																			
維持			×																			
低下		×	×																			
<p>・当初計画の想定を大幅に上回る入込客数等利用状況に、適切に対応ができる施設運営の模索を継続して実施する。また、施設許容度を上回る分野は、その状況を把握し、平成26年度以降の施設管理・運営に効果的に結びつける必要がある。</p> <p>・施設の浄化槽対策については、施設改修による対応が進む一方で、市及び指定管理者と連携をして改善に向けた監視や対策を継続する必要がある。</p> <p>・高速道路利用者の休憩・トイレ、飲食等のサービス提供は、市内への誘客要因として更なる機能充実、サービス向上が望まれている。また、観光情報等の発信は、人を介した積極的な誘導が望まれているため、指定管理者と市、関係団体等が連携して取り組む必要がある。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				